

発行所 西蒲原郡 巻町中央公民館 編集人 北川郡司 印刷所 北洋印刷株式会社

農民の悲願

鰐瀉の歴史を探る

鰐瀉が近く国営事業として干拓されると言う、しかし三〇〇〇年前既に問題となりわれわれの先祖がこの瀉をめぐつて...

三瀉水抜一件覚書

元祿頃からの新田開墾ブームは、こゝ蒲原湿地帯をも見落しはしなかつた。度々のわれわれの総代の抗議にも...

三瀉新開墾人は後を絶たない。そのたび検査... とうとう寛政二年(一七九〇)坂井庄左エ門の老中直訴、勘定奉行駈込訴...

文政三年(一八二六)更に樋一門を増設したが排水意の如くならず殊に鰐瀉はそうである。幕府の新開墾は更に熾烈であり、村方も...

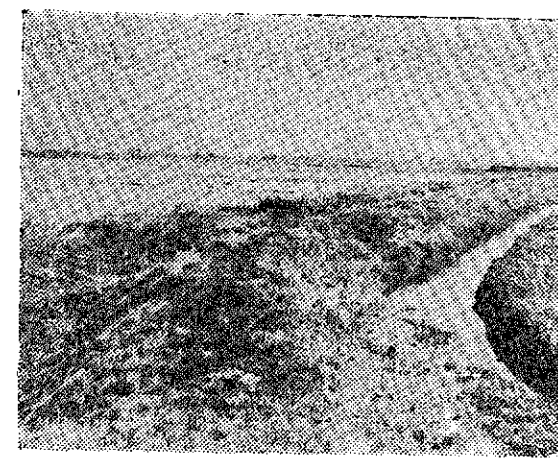
にわたる処罰である。とうとう新瀉町内野村からいろいろ約束の上、文化十四年(一八一七)金蔵坂堀割は許可され、文政三年(一八二〇)完成する。この目論見には、しかし巻組は冷淡であつた。下流の田瀉大瀉はなるほど干あがるであらうが、上流の鰐瀉には影響なからうし、むしろ水吐場を失つて洪水になりやすいだらうとの見通しからしがつた。

天保三年(一八三二)夏六月のことである。一旦御請書は出してあるし、藩の慰留もあり、表向き蒲原兩組三十七カ村引請、内実巻組、湯前組庄屋六人、漆山、河井、巻、葉、中郷屋、真田、西川伏越樋二門増設早通川改修をやることになった。

工事は完成したが翌年は雨ばかり降つて瀉内過水で新開墾下どころの話でない。庄屋株を抵当にして借りた金は矢の催促されるし、内野村へ出す井料米は払えない。曾根組との金子出入は解決されず、あてにしていた人夫賃はなかなかもたらえない。

幸いといつていいのだから、嘉永四年(一八一五)市島家から藤十郎、柳蔵の名で開墾願を出してくれ、これに権利をゆずることができたものの、実際に当ててみるの、面積が不足だといふ出され二度も江戸からわざわざ検使が来て、安政五年(一八五二)ようやく譲渡の一札をとり交すに至つた。

人間は、その力の及ばないものに出合つと、いつとはなしにこれを神祕化して、人間らしい情緒を作り上げようとする。鰐瀉に大蛇が住む。そして漆山の寺御講頭になると、よく雨が降る、大蛇が詣るからだ。しかし、いつとはなしに、我々の頭の中から鰐瀉の大蛇は消えていて、真近くそこに、明るい沃野が拓けようとしている。こうして、時代は新しく、明るい環境を作つて行く。その中に、我々の生活だけが古い、暗い惨めな因習に、我々の生活が占領されている。



市島家ではうけとつてみたものの最初の目論見、底蘊をとり払い西川と合流させる案が不許可になつた。置しておいたようである。そしてそのまま明治となり大正となり昭和となりつても三十年間、鰐瀉干拓目論見はまた脚光をあびることになつたのである。先人も盡あらば来り助けよといふところ。

「しきたり」にしばられて、うごめいてる生活の「干拓」は出来ないものであろうか。(西村)

より美しく生きよう

— 青年問題集會に参加して —

坂田節子

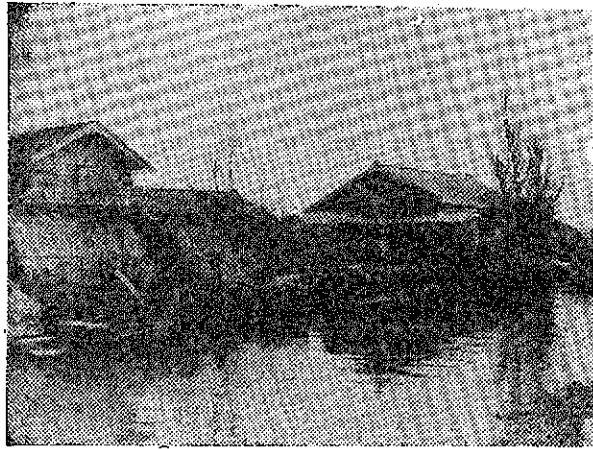
本県の代表として去る二月二十七日より三月一日まで東京の日本青年會館で行われた全国青年問題研究集會に参加された岩室村青年團の坂田節子さんから特にその集會の模様について御寄稿いただきました。

全国各地から集つた青年約八百人、集つた多くはほとんど農村の青年たちでした。生活の貧困、古いしきたりの中に縛られてくる青年の生活、そして結婚問題等々いろいろの状態の中にもうごめいてる私たち青年は一体どうしたらいいのだろうか。途方にくれている多くの仲間を知りその人たちの生活と比べたら同じ農村に住む私はあまりにも恵まれている様な気がいたします。

この研究集會は青年の生活をよくしよう、女性の地位高揚、民主主義と平和を守ろう。青年の教育は青年の手で育てよう。組織を強くしよう。この五つのスローガンのもとに生活、組織活動、学習活動、社会活動に分け、分科會で話し合いました。

第一部會「青年の生活」

では恋愛のこと、結婚問題、ことに青年が求めている学習方法等。第三部會「組織活動」グループ活動、運営の民主化、青年團と地域との問題、行事青年團から考える青年團へ、出隊の問題、機関紙と調査活動、自主財政と事務機構等話し合いの中に一番問題となつたのは



お互が信頼される仲間にならうという事で第四分會「社会をよくする運動」では調査の重要性、衣食生活の改善、結婚のこと、生活の共同化、環境衛生、政治活動、他団体との協力、選挙のこと等話し合つた。

この報告の中にも皆の生活がぎりぎりの貧しうかがわれる。しかし苦しい中にも仲間をつくらう。そして地域に残された多くの問題を一つ一つ解決し青年たちの幸を願ひ、生活をよくするための青年團にしようとする全国の仲間八百の聲は輝いていた。コーラス「幸の

歌」に相續して泣く一場面もあつた。甘い思いや夢ではない。少くとも現在よりはより美しく明るい社会を作ろうと誓ひ日本青年會館をあとにしました。

(岩室村青年團員 郡團副團長)

役場の窓口

共同募金

昭和三十年年度の巻町共同募金集計がまとまつたのでお知らせします。目標額二六三、八二六円、九〇〇円となり、超過分六九、〇七四円の使途について、は堀山及赤さび地内の児童遊園地にスベリ合各一台、小学校には「ウスベリ」を寄贈するよう新設されました。

役場事務の迅速化を図つてこの度交換台が

電話の交換台が出来ました

一日中排水機を廻している家もある。あちこちの田圃から天然ガスの管が引かれてる。田圃の方向に、トッコ網を探る舟が二、三艘、カンカンポイの櫂の音も風につけて聞える。土手にはひびに汚れた童等が、葎の茎を腰に差して戦さごつこに興じてる。漕から舟が帰ってくる。子供を抱いた女が冬囲いの家からのつそりと出て迎えている。

やがて西山にほんのりと

漕のくらし

町を出て約二軒、灰色の空がだんだん拡がり、雪解けの野づらに早春の風は尙肌寒い。

巻町十二区とはいえ、この漕の部落は六、七軒、葎の冬囲いを庇からめぐらして、寒風に吹きさらされたように立ちならんでる。

軒場にはトッコ網などの冬の漁撈の道具が雑然と乾かされてあり、川べりには呼鳥に用いる家鴨が飼われ、舟が繫れている。



14

昭和三十年度巻町共同募金結果報告

目標額 二六三、八二六円

實際募金額 三三三、九〇〇円

各地区別明細

地区別	目標額	募金額	過不足
巻	二八〇八円	一八七三三円	六、〇七四円
漆山	五五二四円	五五二四円	〇
峰岡	三九七五円	三九七五円	〇
松野尾	三〇二九円	三〇二九円	〇
角田	三〇八七円	三〇八七円	〇
浦田	四〇八六円	四〇八六円	〇
五部	六、八八六円	六、八八六円	〇
合	三三三、八二六円	三三三、九〇〇円	七、〇七四円

糞尿の処理

役場の呼出しは一九〇番です御用のある際又は氏名を言つて下さい

糞尿の処理

化学肥料の出廻りか

バラ色の光りを残して日が沈んでゆく。近代建築の見える町のあたりに、白い霞が立ちそめて静かに南の方に流れて行く。最早黒い地面には夜の帷がたゞよい始めた。

一、調査対象、世帯数 二、〇〇〇戸

二、回答率三六%

三、町で処理してほしいと希望される世帯数三三三戸

四、町で処理を希望しない世帯数二一七戸

五、町で処理を希望される率六〇%

町ではこれら、の要望実現については、衛生的処理により農家に肥料として還元する方法等、今後具体的な研究をいたしたいと思ひます。